

2013年3月期 中間決算概要（連結）

1. 業績の概況 当中間連結会計期間（自 2012年4月1日 至 2012年9月30日）（単位：億円）

区 分	2012年度 上期実績 A	2011年度 上期実績 B	増 減	
			金 額 A-B	% A/B*100
営業収益	12,870	2,740	10,130	469.7
高速道路事業	12,585	2,490	10,095	505.4
(料金収入)	2,565	2,361	203	108.6
(道路資産完成高等)	10,019	※2 128	9,891	7823.5
関連事業	285	250	35	114.1
(休憩所事業)	226	192	33	117.6
(その他)	59	57	1	102.4
営業費用	12,680	2,556	10,123	496.0
高速道路事業	12,435	2,343	10,091	530.6
関連事業	245	212	32	115.3
営業利益	190	183	6	103.5
高速道路事業	149	146	3	102.6
関連事業	40	37	2	107.4
経常利益	194	188	6	103.3
中間（当期）純利益	116	112	3	103.1

※1 実績金額は、億円未満の端数を切り捨てて表示しております。

※2 2011年度上期実績の道路資産完成高等には、無料化社会実験に伴う国からの負担金（40億円）を含みます。

（注）事業内容の種類、性質等の類似性、損益集計区分及び関連資産に照らし、以下のように事業区分を行っております。

事業		業務内容
高速道路事業	建設事業	高速道路の新設、改築
	保全・サービス事業	高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理
休憩所事業		高速道路内におけるサービスエリアの建設、管理及び運営
その他（関連）事業		受託事業、トラックターミナル事業、占用施設活用事業、物販事業、旅行事業、海外事業、カードサービス事業等

2. トピックス

(1) 高速道路事業

(実施した主な施策)

新規ネットワークの整備

- ・新東名高速道路（御殿場 JCT～三ヶ日 JCT 162km） 2012 年 4 月 14 日開通
- ・東海環状自動車道（大垣西～養老 JCT 6km） 2012 年 9 月 15 日開通

(中間期実績)

収益は、1 兆 2,585 億円と前中間期から 1 兆 95 億円増加しております。これは新東名高速道路の開通や料金割引の見直し(※)等による料金収入の増加と道路資産完成高の増加によります。また営業利益は、149 億円と前中間期から 3 億円の増加となりました。

※ 2011 年 6 月 19 日をもって、休日特別割引の上限(土日祝日 普通車、軽自動車等 1,000 円)を廃止しています。

(2) 関連事業

(実施した主な施策)

2012 年 4 月 14 日の新東名高速道路の開通にあわせて 13 カ所の商業施設がオープンしました。出店した 121 の店舗の半数以上にあたる 67 店舗は、高速道路初出店で、これまでの高速道路にはなかった新鮮で魅力的なサービスを提供しております。

特に、駿河湾沼津サービスエリア、清水パーキングエリア、静岡サービスエリア、浜松サービスエリアの 7 カ所（上下線別）については、新たな時代を象徴するブランドとして「NEOPASA(ネオパーサ)」を立ち上げ、開業後 6 カ月間（注：平成 24 年 4 月 14 日～同年 10 月 14 日）に延べ 2,400 万人のお客さまが来場されるなど、大変ご好評をいただきました。

(中間期実績)

収益は、285 億円と前中間期から 35 億円増加しております。これは新東名高速道路の開通等により休憩所事業の収益が 33 億円増加したことによります。

また営業利益は、40 億円と前中間期から 2 億円の増加となりました。

以 上